

# 進行/再発 胃癌

# modified XP療法レジメン

HER2陰性の治癒切除不能な進行・再発胃癌患者に対する1次療法（第II相臨床試験）

G-05 Capecitabine+Cisplatin

< 3週間間隔 × PDまで >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6~14日目	第15~21日目	第22日目
治療内容									
検査	採血	○							○
診療	副作用の問診	○							○
	検査結果	○							○
治療中止基準	①WBC 3000未満 ②血小板 10万未満 ③発熱・CRP上昇 ④PS 2以上	-	-	-	-	-			-
プレメディケーション	イメンドカプセル	125mg	80mg	80mg					125mg
ポストメディケーション	デカドロン錠(0.5) 16錠 分2 朝昼食後				↓				
内服薬	ゼローダ初回量 1回 1000mg/m2を1日2回朝夕食後 【2週間投与し1週間休薬】	↓↓ 朝・ 夕食後	↓↓ 朝・ 夕食後	↓↓ 朝・ 夕食後	↓↓ 朝・ 夕食後	↓↓ 朝・ 夕食後	↓↓ 朝・ 夕食後	休	↓↓ 朝・ 夕食後
点滴	①ラクテック 500ml +アロキシ 0.75mg 1A +デカドロン 3.3mg 3A 点滴静注【1時間】	↓							↓
	②KN1号 500ml +硫酸マグネシウム 8ml 点滴静注【1時間】	↓							↓
	③マンニトールS 300ml 点滴静注【30分】	↓							↓
	④生理食塩液 500ml +シスプラチン注 60mg/m2 点滴静注【2時間】	↓							↓
	⑤KN1号 500ml 点滴静注【1時間】	↓							↓
	⑥KN1号 500ml 点滴静注【1時間】	↓							↓
	①ラクテック 500ml +デカドロン 3.3mg 2A 点滴静注【1時間】		↓	↓					
	②ラクテック 500ml 点滴静注【1時間】		↓	↓					
	③ラクテック 500ml 点滴静注【1時間】		↓	↓					

ゼローダ錠の初回開始基準

体表面積	初回用量（1日用量）	投与錠数
<1.31m <sup>2</sup> 未満	1回1200mgを1日2回(1日2400mg)	1回4錠/1日8錠
1.31m <sup>2</sup> 以上1.64m <sup>2</sup> 以下	1回1500mgを1日2回(1日3000mg)	1回5錠/1日10錠
1.64m <sup>2</sup> <	1回1800mgを1日2回(1日3600mg)	1回6錠/1日12錠

シスプラチン投与レジメンで、ビドキサール併用するとシスプラチンの効果が減弱する報告あり。

## 看護のPoint!!

腎障害予防のため、水分摂取を行ってもらうことと、利尿の確保。

尿測するかどうか指示を確認。

硫酸マグネシウムは腎障害予防のため。

投与時間はどれも多少前後しても大丈夫

吐き気強いので、イメンド+アロキシ+デカドロンフルセット!

デカドロンが4日間ある。糖尿病の人は要注意。

ゼローダで皮膚障害や下痢の可能性もある。持参薬にワーファリンがあれば主治医に報告（ゼローダとの相互作用あり）